

News Report Vol.13

総合人材アウトソーシングのフルキャストグループが捉える 若者(学生アルバイト・フリーター)の意識調査結果

『若者の仕事観 2003』

～ 今回の主要テーマは「若者の働く意識」、「フリーターの意識」 ～

総合人材アウトソーシング事業を展開するフルキャストグループの中核会社でスポット事業(短期業務請負業)を推進する株式会社フルキャストでは、当社及びオフィス系短期業務請負と人材派遣を推進する(株)フルキャストオフィスサポートに登録している18歳から39歳までの学生アルバイト、フリーター(登録スタッフ・派遣スタッフなど)男女合計500名(男性268名、女性232名)を対象に、「若者の働く意識」と「フリーターの意識」に関するアンケートを実施し、この程その結果がまとまりました

(株)フルキャスト及び(株)フルキャストオフィスサポートは、全国で約70万人以上の登録スタッフを擁し、業務請負事業や人材派遣事業を推進しています。

【 若者の働く意識 】

あなたが、今仕事をしている理由は何ですか？

- 男女とも「生活のため」がトップだが、男性2位は「仕事が好きだから」、女性2位は「今の仕事とは異なる夢の実現のため」!

仕事を通して、自分は成長できていると思いますか？

- 男女とも約7割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答!

どのような点で成長していると思いますか？

- 男女とも「コミュニケーション力がついた」がトップ!

何らかの形で、一生仕事をしていきたいと思いますか？

- 男女とも「一生仕事をしていきたい」がトップ!

一生仕事をしていきたい人は、どんなスタイルで仕事を続けたいですか？

- 男女とも「会社に正社員として就職したい」がトップ!
- 年代別では20代女性のみ「手に職をつけてフリーで働きたい」がトップ!

一生仕事をしたくない人は自分にとっての「定年」は何歳だと思いますか？

- 男性の平均は「60.0歳」、女性の平均は「53.3歳」!

一生仕事をしたくない人は、老後をどのように過ごしたいですか？

- 男女とも「趣味を楽しみながら過ごしたい」がトップ!

「自分の一生の仕事」を見つけたいと思いますか？

- 男女とも約8割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答!

「自分の一生の仕事」を見つけるためにはどうすればよいと思いますか？

- 男性は「色々な仕事を体験する」、女性は「自分のスキルを積む」がトップ！

今後、「自分の一生の仕事」を見つけることができると思いますか？

- 男女とも約4割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

いつごろ「自分の一生の仕事」を見つけることができると思いますか？

- 男性「1年未満」、女性は「1年以上3年未満」がトップ！

あなたが目指す仕事のスタイルはどのようなタイプですか？

- 男女とも「何でもこなせるジェネラリストタイプ」よりも「専門能力を究めるスペシャリストタイプ」が多い！

「働くことは当たり前」だと思いますか？

- 男女とも約8割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

仕事をしていて、派遣先や請負先の会社の役に立っていると思いますか？

- 男性の約6割、女性の約5割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

仕事をすることで、社会の役に立っていると思いますか？

- 男性の約5割、女性の約4割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

自分の仕事に誇りを持っていますか？

- 男女と「どちらともいえない」がトップだが、「誇りを持っている」と回答した人は「持っていない」と回答した人よりも多い！また、年代別で見ると、30代男性のみ「誇りを持っている」がトップ！

企業の「定年制度」はある方が良いと思いますか？

- 男女とも「無くても良いと思う」がトップ！

「定年制度」は定年を迎える人にとってどのようなものだと思いますか？

- 男女とも「ゆっくりと余生を過ごし始める人生の節目」がトップ！

.....
【フリーターの意識】 *ここから先はフリーターとして働く男女のみを対象とした設問項目です。

「フリーター」という言葉からどのようなイメージを思い浮かべますか？

- 男女とも、ベスト3は「不安定」、「自由」、「中途半端」！

「フリーター」と呼ばれることについて、どう思いますか？

- 男女とも「特に何も思わない」がトップだが、「フリーターと呼ばれてもかまわない」という人は、「フリーターとは呼ばれたくない」という人よりも多い。

「フリーター」として働いていて、「仕事上のメリット」は何だと思いますか？

- 男性は「色々な仕事を体験できる」、女性は「好きなときに働ける」がトップ！

「フリーター」として働いていて、「人生におけるメリット」は何だと思いますか？

- 男性は「好きなことをして毎日を過ごせる」、女性は「自分の将来をゆっくり考えることができる」が1位！

【 若者の働く意識 】

あなたが今、仕事をしている理由は何ですか？

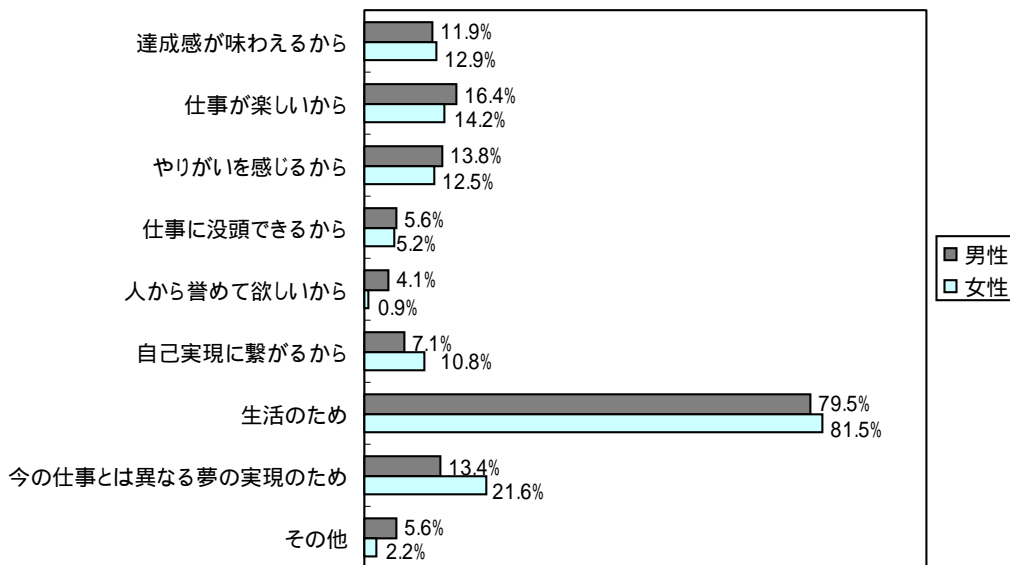
- 男女とも「生活のため」がトップだが、男性 2 位は「仕事楽しいから」、女性 2 位は「今の仕事とは異なる夢の実現のため」！

学生アルバイト、フリーターの男女に、今、仕事をしている理由は何かについて、複数回答形式で尋ねてみました。男女とも「生活のため」(男性 79.5%、女性 81.5%)が圧倒的に多くなっていました。

先が見えない経済不況が続く現代社会において、「生活のため」に仕事をしている若者が多いのは時代性の表れとも受け取れますが、2位では、男女で対照的な結果が出ていたのが特徴的です。男性の2位は「仕事楽しいから」(16.4%)であったのに対して、女性の2位は「今の仕事とは異なる夢の実現のため」(21.6%)という結果でした。男性は仕事することそのものを楽しんでいるのに対して、女性は将来への夢を持って仕事をしているようです。

また、男性の3位は「やりがいを感じるから」(13.8%)、女性の3位は「仕事楽しいから」(14.2%)となっていました。

今、仕事をしている理由は何ですか？ (男性n=268 女性n=232)



仕事を通して、自分は成長できていると思いますか？

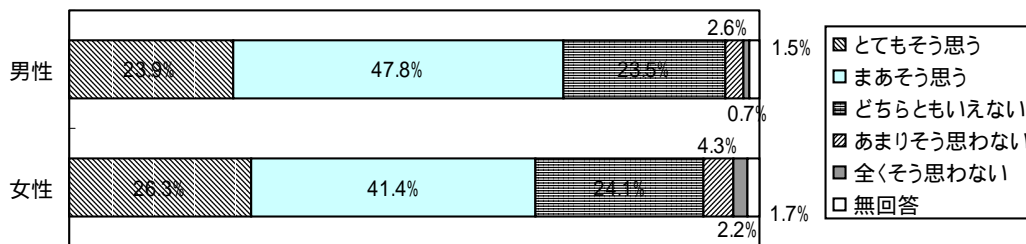
- 男女とも約7割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

どのような点で成長していると思いますか？

- 男女とも「コミュニケーション力がついた」がトップ！

学生アルバイト、フリーターの男女に、仕事を通して自分は成長できていると思うかについて尋ねてみました。男性は「とてもそう思う」、「まあそう思う」という回答をあわせて71.7%、女性は67.7%でした。男女とも約7割が、仕事を通して自分は成長できていると考えているようです。

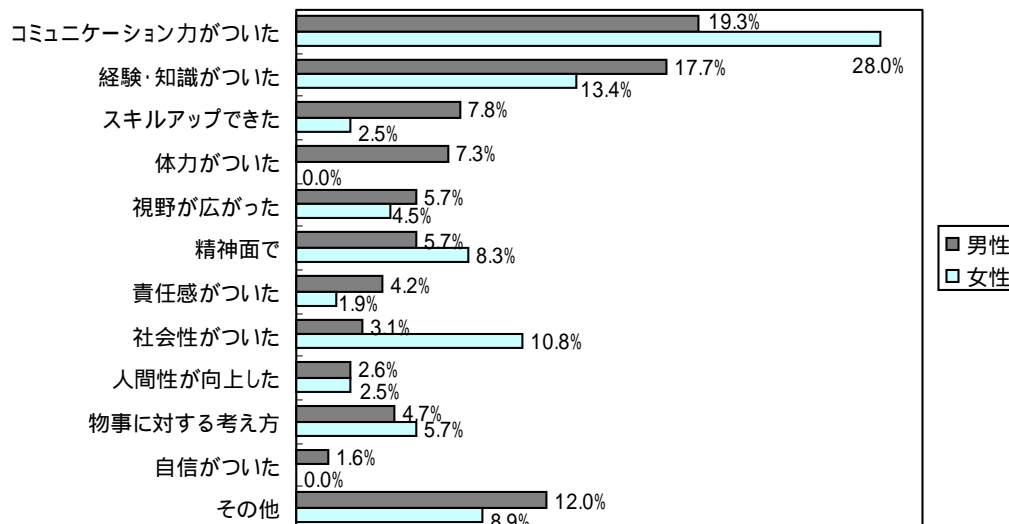
仕事を通して、自分は成長できていると思いますか？ (男性n=268 女性n=232)



さらに、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した男女に、どのような点で成長していると思うかについて自由回答形式で尋ねてみました。回答を大きく分類すると、男女とも「コミュニケーション力がついた」という回答が一番多くなっていました(男性 19.3%、女性 28.0%)。具体的には、男性では「コミュニケーションの取り方」、「人間関係」、「人付き合いが上手くなった」、「協調性」といった回答が、女性では「人と接することが好きになった」、「人に気を遣うことなど」、「他人と接することで相手の立場で考えられるようになる」といった回答があがっていました。男女とも、仕事を通して人と出会うことにより、人のコミュニケーションを円滑にしていくという点で成長していると考えているようです。

男性の2位は「経験・知識がついた」(17.7%)、3位「スキルアップができた」(7.8%)、女性の2位は「経験・知識がついた」(13.4%)、3位は「社会性がついた」(10.8%)となっていました。

どのような点で成長していると思いますか？ (男性n=192 女性n=157)



何らかの形で、一生仕事をしていきたいと思いませんか？

- 男女とも「一生仕事をしていきたい」がトップ！

一生仕事をしていきたい人は、どんなスタイルで仕事を続けたいですか？

- 男女とも「会社に正社員として就職したい」がトップ！
- 年代別では20代女性のみ「手に職をつけてフリーで働きたい」がトップ！

一生仕事をしたくない人は、自分にとっての「定年」は何歳だと思いませんか？

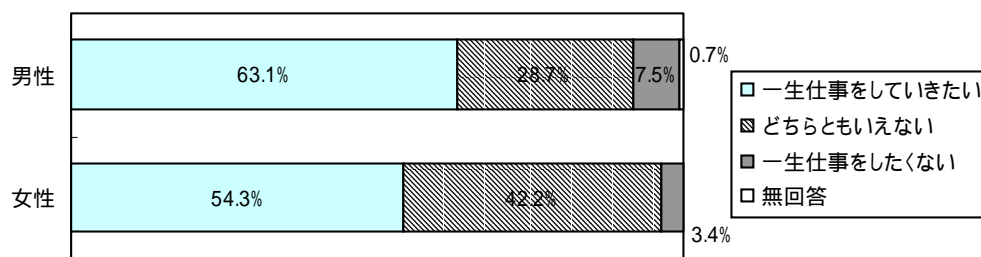
- 男性の平均は「60.0歳」、女性の平均は「53.3歳」！

一生仕事をしたくない人は、老後をどのように過ごしたいですか？(複数回答)

- 男女とも「趣味を楽しみながら過ごしたい」がトップ！

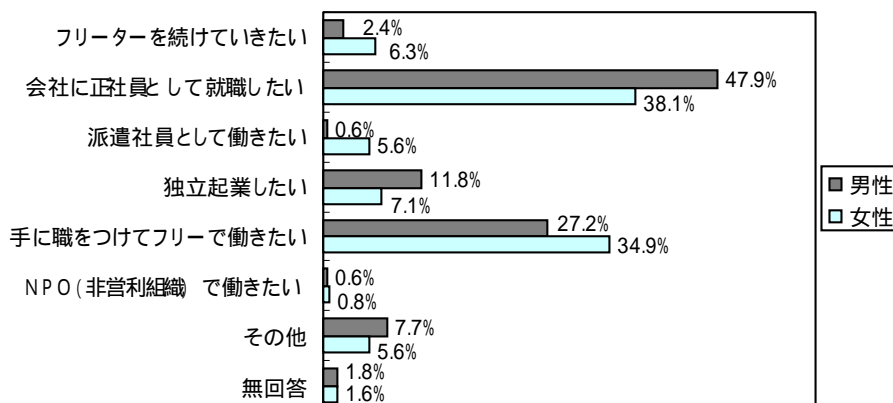
学生アルバイト、フリーターの男女に、何らかの形で一生仕事をしていきたいと思うかどうかについて尋ねてみました。男女とも「一生仕事をしていきたい」(男性 63.1%、女性 54.3%)がトップでした。過半数の若者は、何らかの形で“仕事”というものを一生続けていきたいと考えている様子がうかがえます。

あなたは、一生何らかの形で仕事をしていきたいと思いませんか？ (男性n=268 女性n=232)



さらに、「一生仕事をしていきたい」と回答した男女に、今後はどのようなスタイルで仕事を続けたいと思うかを尋ねてみました。男女とも「会社に正社員として就職したい」がトップ(男性 47.9%、女性 38.1%)、次いで「手に職をつけてフリーで働きたい」(男性 27.2%、女性 34.9%)、「独立起業したい」(男性 11.8%、女性 7.1%)となっていました。

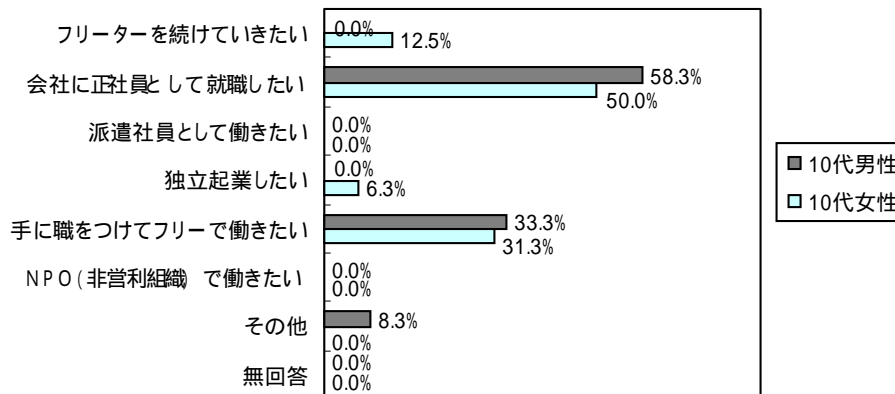
今後、どんなスタイルで仕事を続けたいと思いませんか？ (男性n=169 女性n=126)



この結果を年代別で見ると、20代女性のみ、「手に職をつけてフリーで働きたい」がトップ(37.5%)となっていました。その他の年代では、すべて「会社に正社員として就職したい」がトップでした(10代男性 58.3%、10代女性 50.0%、20代男性 48.4%、30代男性 42.4%、30代女性 40.9%)。20代の女性は、フリーで働きながら一生仕事を続けていきたいと考える人が多いようです。

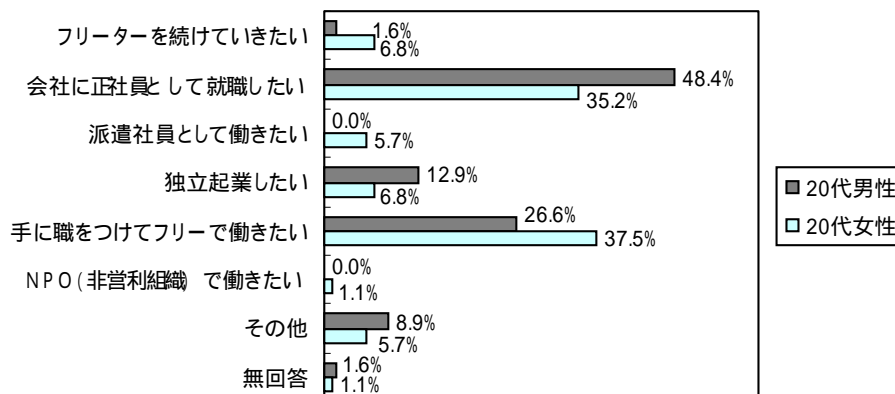
10代男女 / 今後、どんなスタイルで仕事を続けていきたいと思いますか？

(男性n=12 女性n=16)



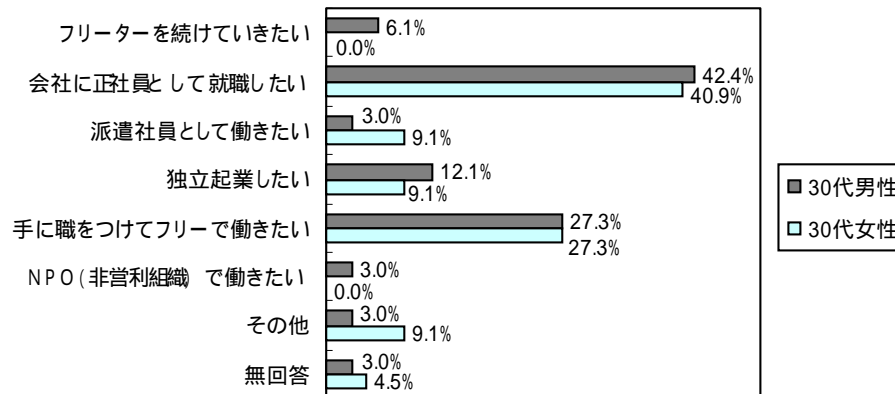
20代男女 / 今後、どんなスタイルで仕事を続けていきたいと思いますか？

(男性n=124 女性n=88)



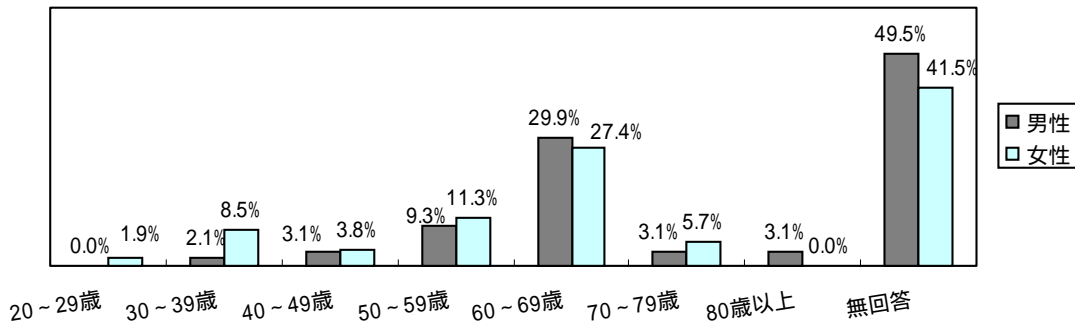
30代男女 / 今後、どんなスタイルで仕事を続けていきたいと思いますか？

(男性n=33 女性n=22)



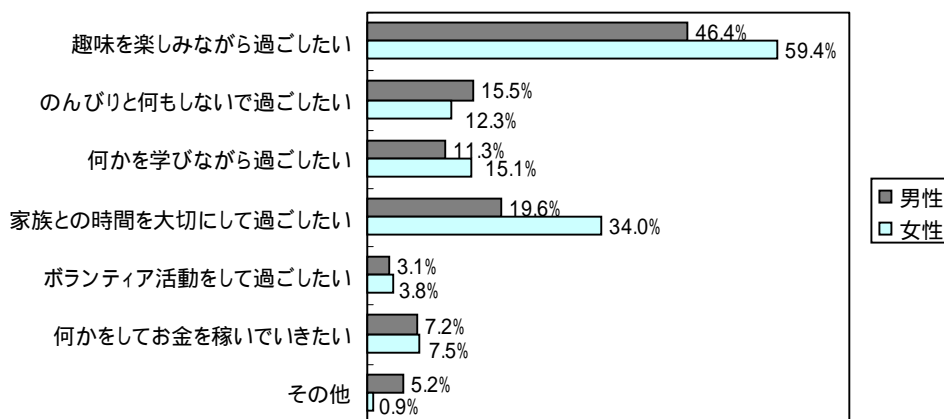
また、一生何らかの形で仕事をしていきたいと思うかどうかについて、「どちらともいえない」、「一生仕事をしたくない」と回答した男女に、自分にとっての「定年」は何歳だと思うかについて尋ねてみました。男女ともに、「60～69歳」の年齢を回答した人がいちばん多くなっていました(男性 29.9%、女性 27.4%)。しかしながら、平均で見ると男性は「60.0歳」だったのに対して、女性は「53.3歳」と女性の方が早めに「定年」を迎えたいと考えているようです。

自分にとっての「定年」は何歳だと思いますか？ (男性n=97 女性n=106)



さらに、一生何らかの形で仕事をしていきたいと思うかどうかについて、「どちらともいえない」、「一生仕事をしたくない」と回答した男女に、老後をどのように過ごしたいかについて複数回答形式で尋ねてみました。男女とも「趣味を楽しみながら過ごしたい」と考える人が一番多く(男性 46.4%、女性 59.4%)、次いで「家族との時間を大切に過ごしたい」(男性 19.6%、女性 34.0%)が多くなっていました。

老後をどのように過ごしたいですか？ (男性n=97 女性n=106)



「自分の一生の仕事」を見つけたいと思いますか？

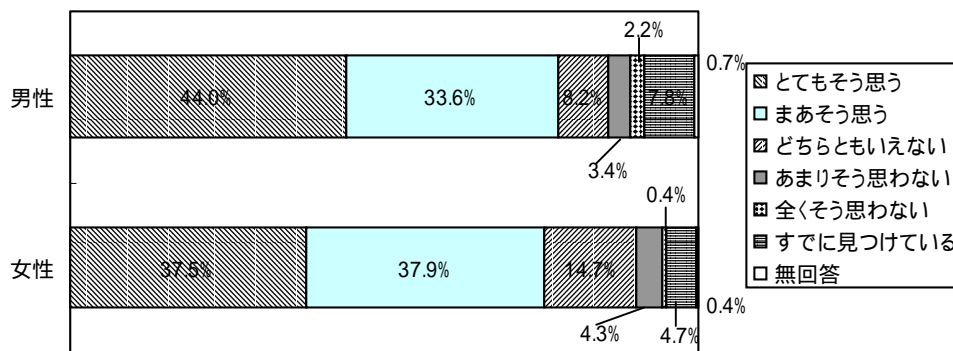
- 男女とも約 8 割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

「自分の一生の仕事」を見つけるためにはどうすればよいと思いますか？

- 男性は「色々な仕事を体験する」、女性は「自分のスキルを積む」がトップ！

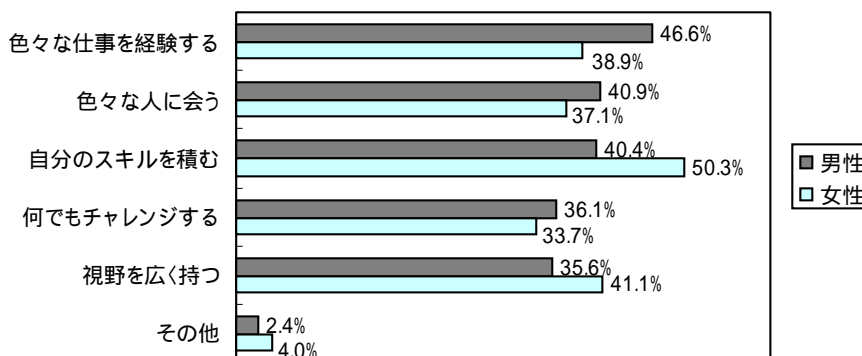
学生アルバイト、フリーターの男女に、「自分の一生の仕事」を見つけたいと思うかについて尋ねてみたところ、男性の 77.6%、女性の 75.4% が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答していました。男女とも「自分の一生の仕事」を見つけたいと考える人が多いようです。

「自分の一生の仕事」を見つけたいと思いますか？ (男性n=268 女性n=232)



さらに、「自分の一生の仕事」を見つけたいと思うかについて、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した男女に、「自分の一生の仕事」を見つけるために、どうすればよいと思うかを複数回答形式で尋ねてみました。男性は「色々な仕事を体験する」(46.6%)が、女性は「自分のスキルを積む」(50.3%)がトップとなっていました。男性では様々な仕事を体験することが、女性では自分にとってのスキルを積み上げていくことが、「自分の一生の仕事」の発見に繋がると考える人が多いようです。

「自分の一生の仕事」を見つけるためにはどうすればよいと思いますか？ (男性n=208 女性n=175)



今後、'自分の一生の仕事'を見つけることができますか？

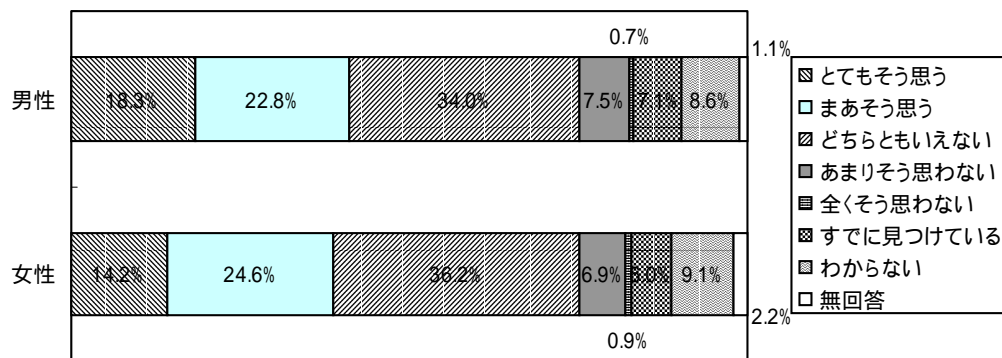
- 男女とも約 4 割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

いつごろ'自分の一生の仕事'を見つけることができますか？

- 男性は「1年以内」、女性は「1年以上3年未満」がトップ！

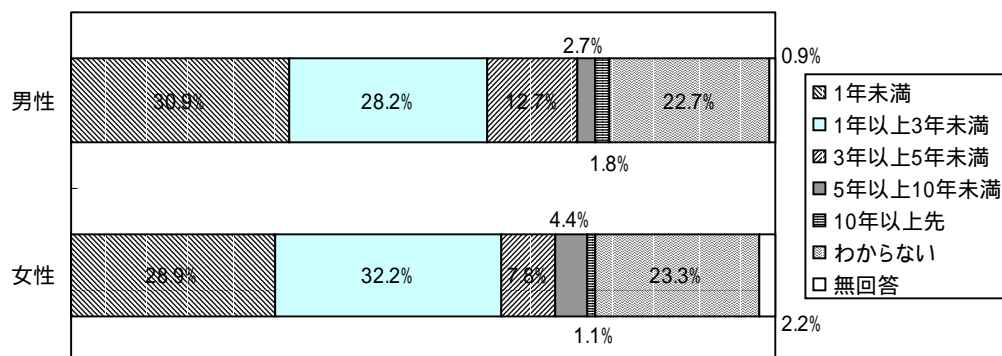
学生アルバイト、フリーターの男女に、今後「自分の一生の仕事」を見つけることができると思うかについて尋ねてみました。「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した人は、男性で 41.1%、女性で 38.8% となっていました。「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答した人は男女とも1割未満でした。また、「(自分の一生の仕事)すでに見つけている」という回答も男性で 7.1%、女性で 6.0% 見られました。

今後、'自分の一生の仕事'を見つけることができますか？ (男性n=268 女性n=232)



さらに、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した男女に、いつごろ「自分の一生の仕事」を見つけることができると思うかを尋ねてみました。男性は「1年未満」という回答(30.9%)が一番多かったのに対して、女性は「1年以上3年未満」という回答(32.2%)が一番多くなっていました。男女とも、そう遠くない将来に「自分の一生の仕事」を見つげられると考えているようですが、女性に比べると、男性の方が早く「自分の一生の仕事」を見つげられると考えているようです。

いつごろ'自分の一生の仕事'を見つけることができますか？ (男性n=110 女性n=90)

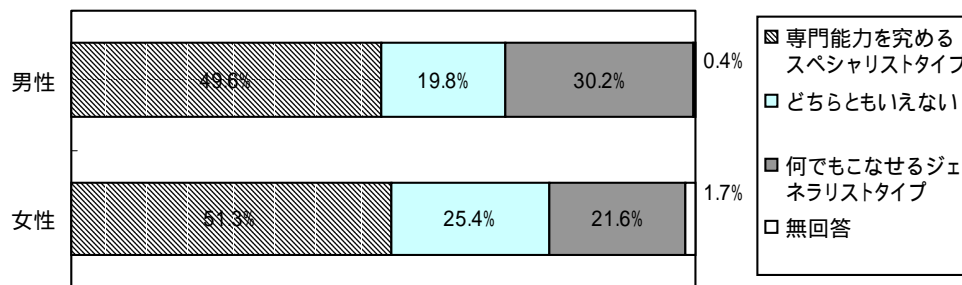


あなたが目指す仕事のスタイルはどのようなタイプですか？

- 男女とも「何でもこなせるジェネラリストタイプ」よりも「専門能力を究めるスペシャリストタイプ」が多い！

学生アルバイト、フリーターの男女に、自分が目指す仕事のスタイルはどのようなタイプかを尋ねてみました。男女ともに「専門能力を究めるスペシャリストタイプ」(男性 49.6%、女性 51.3%)がトップとなっていました。男女とも、「何でもこなせるジェネラリストタイプ」よりも、スペシャリスト志向の人の方が多いようです。

あなたが目指す仕事のスタイルはどのようなタイプですか？ (男性n=268 女性n=232)

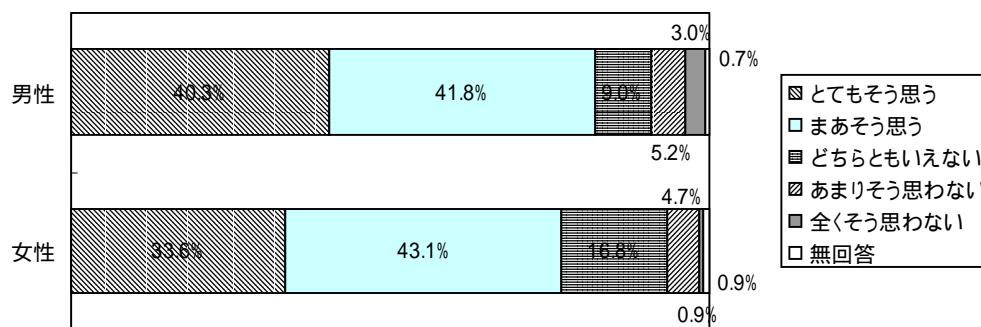


「働くことは当たり前」だと思いますか？

- 男女とも約 8 割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

学生アルバイト、フリーターの男女に、「働くことは当たり前」だと思うかについて尋ねてみたところ、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した人は男性で 82.1%、女性で 76.7%にのぼっていました。「働くことは当たり前である」と考える若者は多いようです。

「働くことは当たり前」だと思いますか？ (男性n=268 女性n=232)

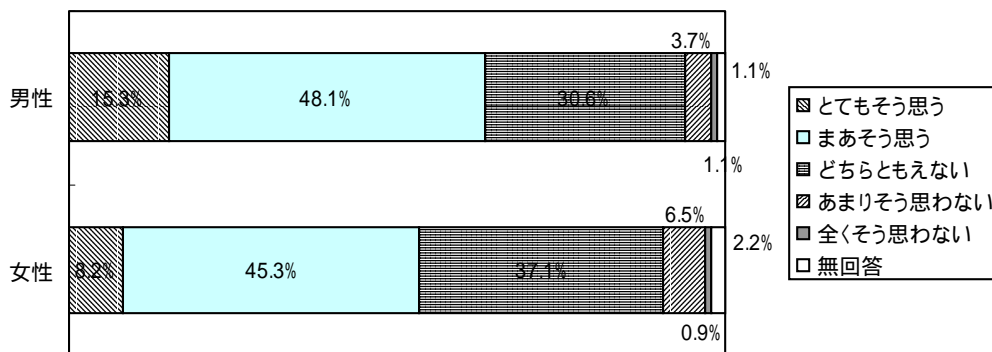


仕事をしていて、派遣先や請負先の会社の役に立っていると思いますか？

➤ 男性の約 6 割、女性の約 5 割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

学生アルバイト、フリーターの男女に、仕事をしていて、派遣先や請負先の会社の役に立っていると思うかどうかを尋ねてみました。男性の63.4%、女性の53.5%が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答していました。半数以上の若者は、アルバイトという形態であっても、仕事をしている時には派遣先や請負先の会社の役に立っているという意識を持っているようです。

仕事をしていて、派遣先や請負先の会社の役に立っていると思いますか？（男性n=268 女性n=232）

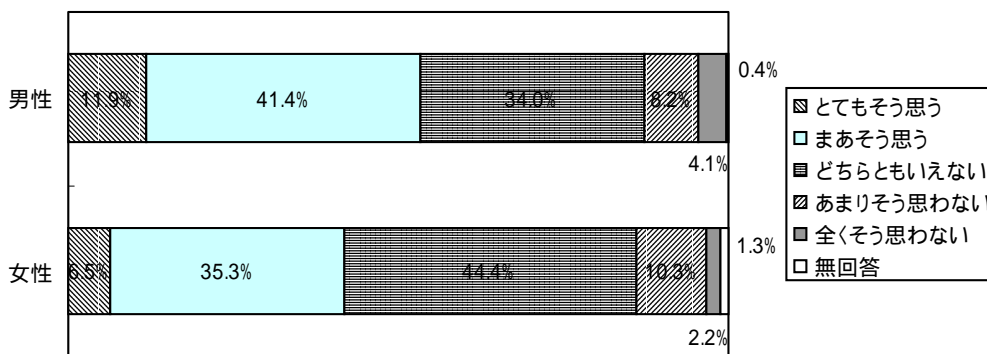


仕事をする中で、社会の役に立っていると思いますか？

➤ 男性の約 5 割、女性の約 4 割が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答！

学生アルバイト、フリーターの男女に、仕事をする中で社会の役に立っていると思うかを尋ねてみました。男性の 53.3%、女性の 41.8%が「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答していました。しかしながら、女性では、「どちらともいえない」という回答が 44.4%となっており、「とてもそう思う」、「まあそう思う」を上回っていました。仕事をする中で社会の役に立っていると考える人は、女性よりも男性の方が多ようです。

仕事をする中で、社会の役に立っていると思いますか？（男性n=268 女性n=232）

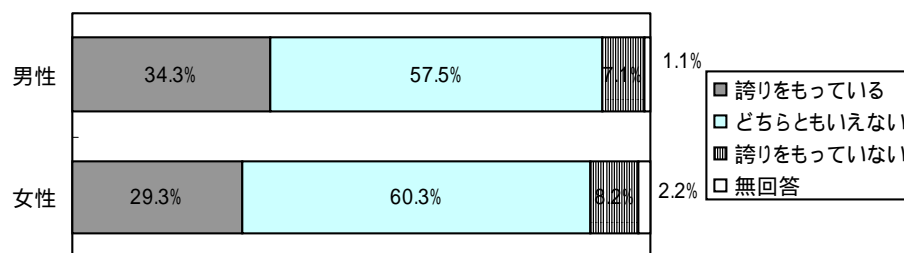


自分の仕事に誇りを持っていますか？

- 男女とも「どちらともいえない」がトップだが、「誇りを持っている」と回答した人は「持っていない」と回答した人よりも多い！
- 年代別で見ると、30代男性のみ「誇りを持っている」がトップ！

学生アルバイト、フリーターの男女に、自分の仕事に誇りを持っているかについて尋ねてみました。男女とも「どちらともいえない」(男性 57.5%、女性 60.3%)が一番多かったものの、「誇りを持っている」と回答した人(男性 34.3%、女性 29.3%)は「誇りを持っていない」と回答した人(男性 7.1%、女性 8.2%)よりも、多くなっていました。

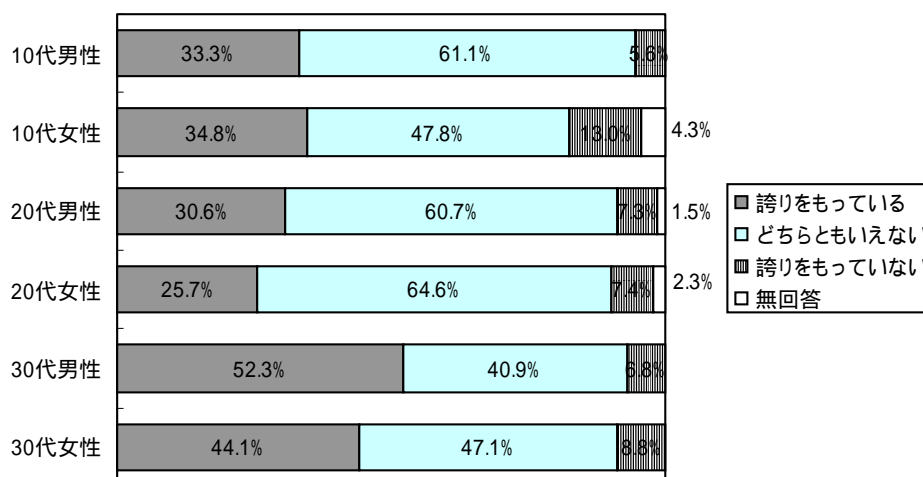
自分の仕事に誇りを持っていますか？ (男性n=268 女性n=232)



この結果を年代別で見ると、30代の男性のみ「誇りを持っている」が一番多くなっているのが特徴的です(52.3%)。10代男女、20代男女、30代女性はいずれも「どちらともいえない」が一番多くなっていました(10代男性 61.1%、10代女性 47.8%、20代男性 60.7%、20代女性 64.6%、30代女性 47.1%)。

年代別 / 自分の仕事に誇りを持っていますか？

(10代男性n=18、10代女性n=23、20代男性n=206、20代女性n=175、30代男性n=44、30代女性n=34)



企業の「定年制度」はある方が良いと思いますか？

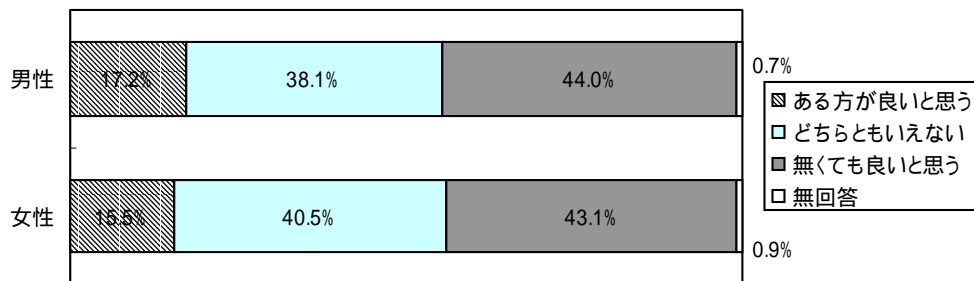
- 男女とも「無くても良いと思う」がトップ！

「定年制度」は定年を迎える人にとって、どのようなものだと思いますか？

- 男女とも「ゆっくりと余生を過ごし始める人生の節目」がトップ！

学生アルバイト、フリーターの男女に、今の社会にある企業の「定年制度」はある方が良いと思うかについて尋ねてみました。男女とも「無くても良いと思う」(男性 44.0%、女性 43.1%)が、「ある方が良いと思う」(男性 17.2%、女性 15.5%)を大きく上回っていました。現代社会の「定年制度」は無くても良いのではないかと考える若者が多いことがわかります。

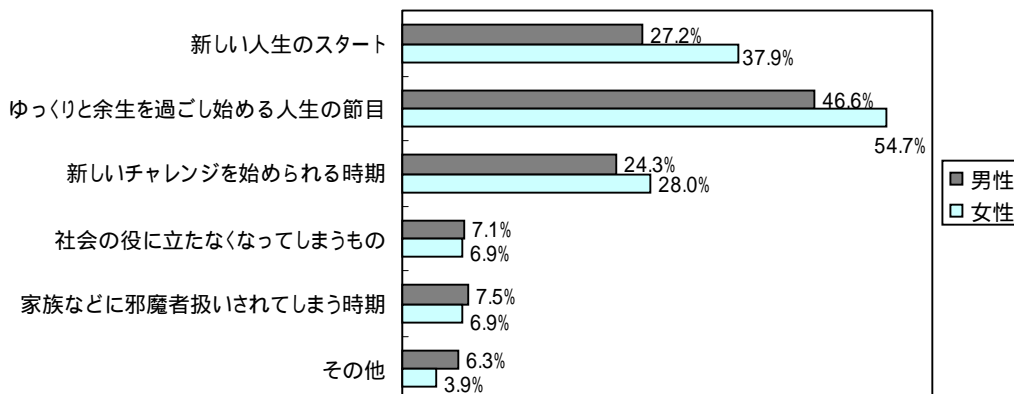
企業の「定年制度」はある方が良いと思いますか？ (男性n=268 女性n=232)



また、「定年制度」は定年を迎える人にとって、どのようなものだと思うかを複数回答形式で尋ねてみたところ、男女とも「ゆっくりと余生を過ごし始める人生の節目」(男性 46.6%、女性 54.7%)が一番多く、次いで「新しい人生のスタート」(男性 27.2%、女性 37.9%)、「新しいチャレンジを始められる時期」(24.3%、女性 28.0%)の順となっていました。男女とも、「社会の役に立たなくなってしまうもの」や「家族などに邪魔者扱いされてしまう時期」といった回答は少なくなっていました。若者は定年を迎える人たちのこれからの人生を前向きに、肯定的に捉えている様子がうかがえます。

「定年制度」は定年を迎える人にとって、どのようなものだと思いますか？

(男性n=268 女性n=232)



【フリーターの意識】

*ここから先はフリーターとして働く男女のみ(学生アルバイトなどは含まず)を対象とした設問項目です。

「フリーター」という言葉からどのようなイメージを思い浮かべますか？

➤ 男女とも、ベスト3は「不安定」、「自由」、「中途半端」!

フリーターの男女に対して、「フリーター」という言葉からどのようなイメージを思い浮かべるかについて、複数回答形式で尋ねてみました。男女ともベスト3は、1位から順に「不安定」、「自由」、「中途半端」となっていました。「フリーター」として働いている男女は、「フリーター」という言葉に不安定で中途半端であるというイメージを持ちながらも、その反面で自由な部分があるという意識を持っているということのようです。

ベスト10を見てみると下記の表のようになります。男女の違いを見ると、「フリーター」という言葉から「若者」というイメージを想起する人は男性よりも女性の方が多いようです(男性7位、女性5位)。また、「生活苦」というイメージを想起する人は女性よりも男性の方が多いようです(男性5位、女性8位)。

男女とも、9位と10位には「可能性」や「チャレンジ」など前向きなイメージが入っていました。

「フリーター」という言葉からどのようなイメージを思い浮かべますか？ (男性n=234 女性n=199)

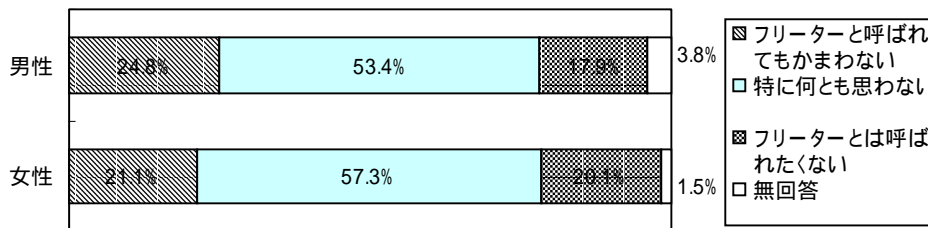
	男性	女性
1位	不安定 (48.3%)	不安定 (55.8%)
2位	自由 (46.6%)	自由 (50.8%)
3位	中途半端 (33.8%)	中途半端 (33.2%)
4位	模索中 (27.8%)	模索中 (31.2%)
5位	生活苦 (20.1%)	若者 (27.6%)
6位	成長途中 (17.6%)	成長途中 (16.6%)
7位	若者 (16.2%)	未完成 (16.6%) 同率6位
8位	未完成 (14.5%)	生活苦 (15.6%)
9位	チャレンジ (11.1%)	可能性 (15.1%)
10位	可能性 (11.1%) 同率9位	チャレンジ (13.1%)

「フリーター」と呼ばれることについて、どう思いますか？

- 男女とも「特に何とも思わない」がトップだが、「フリーターと呼ばれてもかまわない」という人は、「フリーターとは呼ばれたくない」という人よりも多い！

フリーターの男女に、自分が「フリーター」と呼ばれることについてどう思うかを尋ねてみました。男女とも「特になんとも思わない」(男性53.4%、女性57.3%)という人が一番多く、次いで「フリーターと呼ばれてもかまわない」(男性24.8%、女性21.1%)となっていました。男女とも、「フリーターと呼ばれてもかまわない」という人の方が、「フリーターと呼ばれたくない」という人よりも若干多いようです。

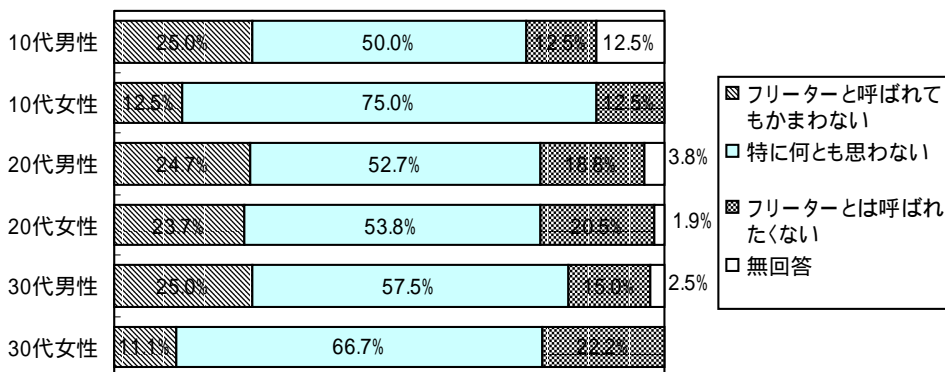
「フリーター」と呼ばれることについて、どう思いますか？ (男性n=234 女性n=199)



また、この結果を年代別で見ると、各年代すべてにおいて「特に何とも思わない」という回答が一番多いものの、30代女性のみが「フリーターとは呼ばれたくない」(22.2%)が「フリーターと呼ばれてもかまわない」(11.1%)を上回っていました。

年代別 / 「フリーター」と呼ばれることについて、どう思いますか？

(10代男性n=8、10代女性n=16、20代男性n=186、20代女性n=156、30代男性n=40、30代女性n=27)



さらに、「フリーターとは呼ばれたくない」と回答した男女に、「フリーター」という言葉以外ではどんな呼び方をされたいかを尋ねてみました。その結果を見ると、「わからない」という回答や無回答も多く、全体としての傾向値は出ませんでした。男女別にいくつかの回答をご紹介します。

男性の回答

「夢追人と書いてドリーマー」、「アルバイター」、「自由人」、「チャレンジャー」、「勝つ途中の人」など

女性の回答

「フリーアルバイター(略して呼ぶと軽く聞こえる)」、「発展途上の可能性をかなり秘めた若者」、「職業模索中」、「複数の仕事をしている人」、「アルバイター」、「社会人」など

「フリーター」として働いていて、“仕事上のメリット”は何だと思えますか？

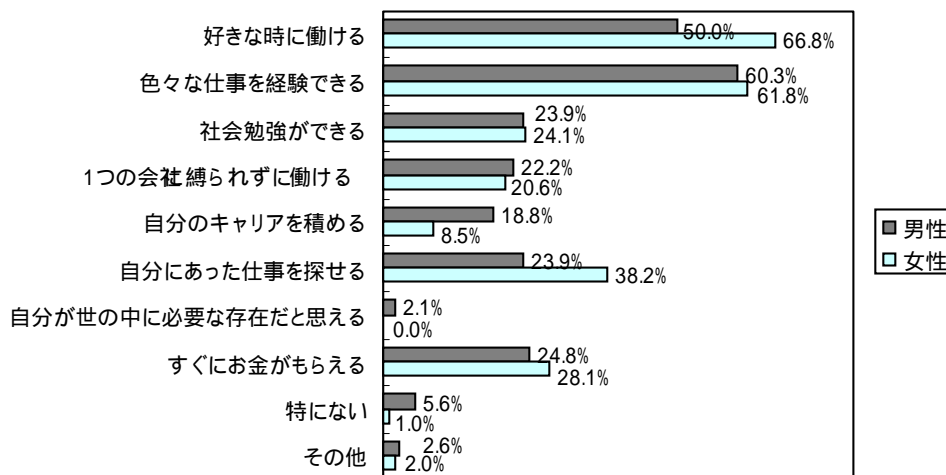
- 男性は「色々な仕事を経験できる」、女性は「好きな時に働ける」がトップ！

「フリーター」として働いていて、“人生におけるメリット”は何だと思えますか？

- 男性は「好きなことをして毎日を過ごせる」、女性は「自分の将来をゆっくり考えることができる」がトップ！

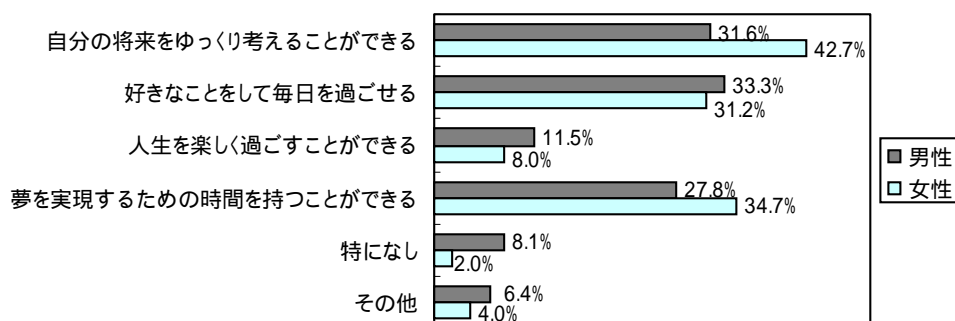
フリーターの男女に、「フリーター」として働いていて、“仕事上のメリット”は何かについて、複数回答形式で尋ねてみました。男性は「色々な仕事を経験できる」(60.3%)、女性は「好きな時に働ける」(66.8%)がトップとなっていました。2位以下をみると、男性2位は「好きなときに働ける」(50.0%)、3位は「すぐにお金がもらえる」(24.8%)でした。女性2位は「色々な仕事を経験できる」(61.8%)、3位は「自分にあった仕事を探せる」(38.2%)となっていました。男女とも、「すぐにお金がもらえる」ということよりも、好きな時に働け、色々な仕事を経験できるということをフリーターのメリットとして考える人が多いようです。

「フリーター」として働いていて“仕事上のメリット”は何だと思えますか？ (男性n=234 女性n=199)



また、「フリーター」として働いていて、“人生におけるメリット”は何かについて、複数回答形式で尋ねてみました。男性のトップは「好きなことをして毎日を過ごせる」(33.3%)、女性のトップは「自分の将来をゆっくり考えることができる」(42.7%)という結果でした。2位以下を見ると、男性2位は「自分の将来をゆっくり考えることができる」(31.6%)、男性3位は「夢を実現するための時間を持つことができる」(27.8%)でした。女性2位は「夢を実現するための時間を持つことができる」(34.7%)、3位は「好きなことをして毎日を過ごせる」(31.2%)となっていました。

「フリーター」として働いていて“人生におけるメリット”は何だと思えますか？ (男性n=234 女性n=199)



本件に関するお問い合わせ先

株式会社フルキャスト

経営企画部 広報・宣伝室 室長 田中瑞穂

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティ ウェスト 13F

TEL 03-3780-3851 FAX 03-3780-3856

eメール: MTanaka@ms1.fullcast.co.jp

URL : <http://www.fullcast.co.jp>